

第19回 Re-Seed セミナー

「新たな不動産投資市場の創造

～日本の課題を克服する不動産投資～

B-3 観光振興からみる地方創生のあり方

～“ありきたり”の議論を超えたまちづくりの着眼点～

■開催日時：2017.10.20（金）15：00～17：00

■講師：東洋大学 国際観光学部 国際観光学科

教授 国際観光学科長 島川 崇氏

<略 歴> 昭和45年愛媛県松山市生まれ。国際基督教大学卒業、ロンドンメトロポリタン大学院 MBA（Tourism & Hospitality）修了、東京工業大学情報理工学研究科情報環境学専攻博士後期課程満期退学。

日本航空株式会社、松下政経塾、韓国観光公社、株式会社日本総合研究所、東北福祉大学産業福祉マネジメント学部を経て、現在、東洋大学国際観光学部国際観光学科長・教授。

著書に、「観光につける薬」「ソフトパワー時代の外国人観光客誘致」「観光マーケティング入門」「旅行業概論」「観光交通ビジネス」。

最近の研究テーマは、被災地の復興に資する観光振興の研究で、三陸鉄道と協働で沿線地区の観光振興を中心に携わっている。

■講座概要：訪日外国人客数が急速な増加を遂げる中、今や観光需要の取り込みは地域経済の活力向上の一つの鍵となっています。

「地方創生」の流れの中で、各地域は地域資源を活かして域外の需要を取り込むことに尽力していますが、地域の社会経済の維持・発展を実現している例は必ずしも多いとはいえません。本講義では、地域内外の人的交流を多面的に創出する取り組みに長く関わってきた講師に、かけ声だけの“地域活性化”が成功しない原因を探った上で、功罪両面ある観光という手段を利用した地域の活力強化の方向性について提言していただきました。

